

はじめに

みなさんにそつと教えちゃいますね!

「えっ! 何を?」ですって?

音楽の教科書によく登場する作曲家や曲についての「ひみつ」です。「へえー、そうなんだ!」ということがいっぱいあるけれど、その中から、とっておきのひみつだけをえらびました。楽譜のひみつも少しだけ、こっそり入っています。

本の中のあちこちに登場する曲も、ぜひきいてみてください。ひみつを知ると、よりおもしろくきけると思いますよ。

この本に書いてある「ひみつ」がおもしろいなと思ったら、ほかのひみつも本やインターネットでさがしてみてくださいね。(中島 寿)

学校の音楽の授業では、どのようなことをしていますか。きつと、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をきいたり、音楽をつくったりしているのではないのでしょうか。

一つひとつの音楽にはたくさんの「ひみつ」がかくれています。授業の中でそれを紹介することはむずかしいので、この本で、ほんの一部を中島 寿先生といっしょに紹介することにしました。

きつと、みなさんが音楽家のひみつ、楽譜のひみつ、曲のひみつを知ることで、音楽のきき方、音楽との関わり方も変わってくるでしょう。そして、ただひみつを知るだけでなく、自分で考えたり、自分でつくったり、自分で表現したりしてみてくださいね。(平野 次郎)



はじめに……………2

音楽家のひみつ

何人分かな?……………4

バッハは、音楽の名門「小川」家に生まれた!……………6

イタズラずきだったハイドン……………8

5才で曲をつくったモーツァルト……………10

ベートーヴェンは耳がきこえなくなっても曲がつくれた!?……………12

もっと知りたい! すこい音楽家たち……………14

楽譜のひみつ

「音階(ドレミ…)」は音の階段!?……………16

「音名」は一つひとつの音の名前!?……………17

曲のひみつ

「春」はやまびこ?……………18

「ボレロ」はどうしてあきない?……………20

「変奏曲」は「変装曲」?……………22

「おもちゃ」を使った曲があるの!?……………24

同じメロディなのに、速さがちがう!……………26

この絵がどんな音がきこえてくる?……………28

自分の「声」で曲をつくってみよう!……………30



QRコードの使い方



本文中にQRコードがあるページは、そのページで紹介した曲を無料で30秒、試しにきくことができます。タブレットなどでQRコードを読みこんで、曲をきいてみよう!

- ① カメラまたはQRコードリーダーを使って、QRコードを読み取る。
- ② 特設ページに移動し、表示されたリストの曲のURLをクリックすると、「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」のウェブサイトに移動する。
- ③ 開いたページの「選択曲を試聴」というボタンをクリックする。
- ④ 別ウィンドウが開き、「無料体験を開始」「再生(▶)」ボタンをクリックする。

(注意)

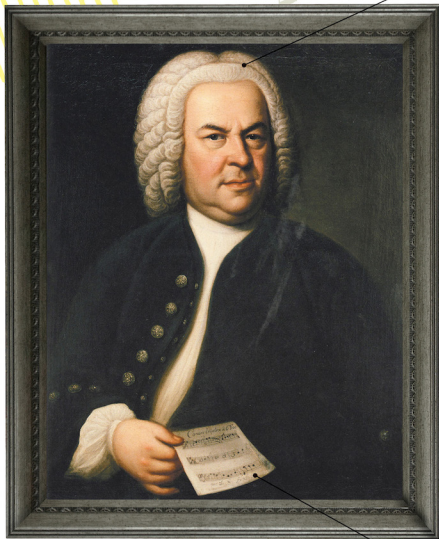
- インターネットに接続できるタブレットやスマートフォンを用意してください。
- カメラではQRコードが読み取れない場合があります。その場合は、QRコードリーダーをダウンロードしてください。
- サイトは予告なく変更・終了する場合があります。 ● QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

バッハは、音楽の名門 「小川」家に生まれた!

ヨハン・セバスチャン・小川?

このヨハン・セバスチャン・バッハは、たくさんの作曲家に影響をあたえたことで、「音楽の父」とよばれているよ。

バッハというのには名字で、「バッハ(Bach)」は、ドイツ語で「小川」という意味。つまり、バッハは小川さんというわけ。このバッハ家、すごいのはヨハン・セバスチャン・バッハだけではなくて、200年で50人以上もの音楽家が生まれた、音楽の超名門一家なんだ。ちなみに、「J.S.バッハ」と書かれていたら、この肖像画のバッハのこと。バッハ家のように、たくさんの音楽家がいる一族は、有名な人だけ名字、その人以外は名字と名前でよぶなどの区別をしているよ。



ヨハン・セバスチャン・バッハ
(1685 ~ 1750 年/ドイツの作曲家、オルガニスト)

月明かりの下で勉強した!

バッハは、お兄さんのヨハン・クリストフに音楽を教えてもらった。音楽が大好きで、お兄さんの大切な楽譜を真夜中にこっそり持ち出して、月明かりの下で楽譜を写したんだって! その結果、とても目が悪くなってしまったよ。

ひみつ①

ひみつ②

白いかみの毛は、かつら

バッハの時代は、毎日お風呂に入ったり、せんたくをしたりしてなかった。それをかくすために、かみの毛は短くしたり、丸がりにしたりして、かつらをかぶっていたよ! そして、かつらをかぶることが貴族の「正装」で、オシャレでもあったんだ。

ひみつ④

子どもは20人!

バッハは2回の結婚で、合計20人もの子どもが生まれたよ。最後の子どもが生まれたのは、バッハが50歳のときだったんだって! そのうちの4人の息子が音楽家として、名前が残っているよ。



コーヒーが大好きすぎて、曲をつくった!?

18世紀当時、ドイツのライプツィヒでは、コーヒーが大流行! そんな中、バッハはコーヒーが大好きな娘と、それをやめさせようとするお父さんのかけひきをおもしろおかしい音楽劇にしたよ。『コーヒー・カンタータ』とよばれるこの劇は、コーヒーハウスで演奏されたんだ。バッハもコーヒーが大好きで、1日に数十杯もコーヒーを飲んでいたといわれているよ。

ひみつ③

手に持っている楽譜は本物!

バッハが手に持っている楽譜は『6声の三重カノン』とよばれる曲で、実際にバッハが作曲した曲だよ。楽譜には3パートしか書かれていないけど、残りの3パートは楽譜にある3パートを反転させて、1小節ずつずらすことで、六重奏になるというおもしろいかけになっているよ!

バッハ家の最初の音楽家とされているのはファイト・バッハ。彼は、パン屋さんだったんだ。小麦の粉をひくリズムに合わせて、ツイターとよばれる楽器を演奏していたといわれているよ。



「おもちゃ」を使った 曲があるの!?

アンゲラー作曲『おもちゃのシンフォニー』

たくさんのおもちゃが
演奏中に登場!

オーストリアの神父だったエトムント・アンゲラーがつくったとされている『おもちゃのシンフォニー』。「シンフォニー」とはオーケストラによって演奏される、いくつかの楽章からできている曲のことで、「交響曲」とよばれる。この曲も『おもちゃの交響曲』といわれることがあるよ。

この曲がおもしろいのは、曲名のとおり、いろいろなおもちゃの楽器が使われているところ! オーストリアの修道院で見つかった楽譜の写本には、カッコウ、ウズラ、ラッパ、たいこ、ガラガラ(ラトル)、めんどりの笛、トライアングルといった、ドイツのバイエルン州にあるおもちゃ屋さんの木のおもちゃが指定されている。演奏する人によって、使われる楽器は少し変わることがあって、めんどりの笛はナイチンゲールとよばれる水笛になることもあるんだ。

鳥の鳴き声が出る!?

カッコウもウズラも鳥の名前がついた笛。「カッコウ」や「ケーケー」といった、カッコウやウズラの鳴き声のような音が出るんだ。



おもちゃのラッパ



ウズラ



カッコウ



カタカタ(ラチェット)



水笛

おもしろい音が出るものをさがしてみよう!



作曲者はだれ!?

『おもちゃのシンフォニー』は、たくさんのおもちゃが使われることで知られているけれど、実は作曲者とされる人がどんどん変わったことでも知られているんだよ。もともとは、長い間8~9ページで紹介したハイドンがつくった曲だと考えられていた。ところが、1950年ごろからモーツァルトのお父さんであるレオポルト・モーツァルトがつくったといわれるように。その後、1992年にオーストリアの修道院で1785年ごろの楽譜が発見された。その楽譜に「エトムント・アンゲラーが作曲した」と書かれていたことから、現在では、アンゲラーがつくったと考えられているよ。だからこの曲をつくったかがはっきりと分らないから、作曲者がどんどん変わったんだ!

